

TL AutoPan™ プラグイン

Version 7.0



Copyright

© 2006 Digidesign, a division of Avid Technology, Inc. All rights reserved. This guide may not be duplicated in whole or in part without the express written consent of Digidesign.

Avid, Digidesign, Pro Tools, Pro Tools|HD, Pro Tools LE, Pro Tools M-Powered, TL AutoPan, and Trillium Lane Labs are either trademarks or registered trademarks of Avid Technology, Inc. in the US and other countries. All other trademarks contained herein are the property of their respective owners.

Product features, specifications, system requirements, and availability are subject to change without notice.

PN 9329-55024-01 REV A 03/06

著作権

すべての著作権は、アビッドテクノロジー株式会社デジデザイン事業部に帰属します。デジデザインの書面による許可なく、本書の一部または全部を複製することはできません。

上記の製品名は、アビッドテクノロジー株式会社の商標および登録商標です。その他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

製品の機能、仕様、システム要件は、予告なく変更することがあります。

目次

第 1 章はじめに	1
パッケージ版プラグインの内容	1
システムの必要条件	1
プラグインの登録	2
プラグインの使い方	2
凡例	2
www.digidesign.com について	3
第 2 章インストレーション	5
TL AutoPan のインストール	5
TL AutoPan をオーソライズする	5
プラグインを削除する	6
第 3 章プラグインのパラメータを操作する	7
プラグインのパラメータを操作する	7
第 4 章 TL AutoPan	9
はじめに	9
TL AutoPan のコントロール	10
TL AutoPan を操作する	15
サイドチェーン・インプットを使用する	17
索引	19

第 1 章

はじめに

Trillium Lane Labs®の自動パンニング・プラグイン、TL AutoPan™プラグインは、Digidesign®の Pro Tools | HDR、Pro Tools LE™、および Pro Tools M-Powered™システム用のTDMおよび RTASプラグインです。

📖 *Pro Tools* でのプラグインの使用方法について詳しくは、「*DigiRack プラグイン・ガイド*」をお読みください。

パッケージ版プラグインの内容

このプラグイン パッケージには、以下のコンポーネントが入っています。

- ・ インストーラ・ディスク
- ・ iLok USB スマート・キー (別売) を使ってプラグインをオーソライズする際に必要な アクティベーション・カード
- ・ 「TL AutoPan プラグイン・ガイド」(PDF 版ガイド)
- ・ Digidesign オンライン登録カード

システムの必要条件

Digidesign プラグインを使用するためには、以下のいずれかのシステムが必要です。

- ◆ Digidesign認定の Pro Tools | HDシステム、Pro Tools LEシステム、Pro Tools M-Poweredシステム。
- ◆ Digidesign 認定の Pro Tools システムおよび、Digidesign TDM プラグインまたは RTAS プラグインに対応した他社製ソフトウェア・アプリケーション。

必要条件について詳しくは、Digidesign のウェブサイト (www.digidesign.com) をご覧ください。

互換性

Digidesign は、Digidesign が動作確認を行なったハードウェアとソフトウェアに対してのみ互換性を保証し、サポートを行います。

Digidesign が動作を保証するコンピュータ、オペレーティング・システム、ハードディスク、他社の機器については、Digidesign のウェブサイト (www.digidesign.com) に掲載されている最新の一覧表をご覧ください。

プラグインの登録

DigiStore(www.digidesign.com) からオンラインでプラグインを購入すると、その製品は自動的に登録されます。

パッケージ版プラグインをご購入の場合は、同封の Digidesign オンライン登録カードを参照して、オンラインでの登録方法についてご確認ください。

登録ユーザーには、定期的にソフトウェアのアップデートおよびアップグレードについての通知が送られます。

テクニカルサポートについては、Digidesign のウェブサイト (www.digidesign.com) または Digidesign オンライン登録カードを参照してください。

プラグインの使い方

以下のプラグインの使い方については、「DigiRack プラグイン・ガイド」をお読みください。


- ・トラックへプラグインを挿入する
- ・クリップ・インジケータを使用する
- ・プラグイン・ウィンドウを操作する
- ・パラメータを操作する
- ・プラグインのオートメーション
- ・ライブラリアンを使用する


凡例


Digidesign のガイドでは、メニューの選択やキー・コマンドを以下の凡例に従って示します。


表記	操作方法
[ファイル] (File) > [保存] (Save)	[ファイル]メニューから [保存] を選択します。
Control+N	Control キーを押したまま、N キーを押します。
Control- クリック	Control キーを押したまま、マウスをクリックします。
右クリック (Windows)	マウスの右ボタンを押します。

文中のマークは、以下の内容を表しています。

 Pro Tools システムを活用するために役立つヒント、ユーザーチップ。

 Pro Tools セッションのデータや Pro Tools システムの性能に影響がある重要な注意。

 キーボードやマウスを使ったショートカット。

 その他の Pro Tools ガイドのセクションとの関連を示すクロスリファレンス。

www.digidesign.com について

Pro Tools システムを最大限に活用するため、Digidesign のウェブサイト (www.digidesign.com) をご利用ください。ウェブサイトでは、以下のようサービスを提供しています。

登録 ご購入いただきました製品をオンラインでご登録ください。登録方法は、同封の登録カードに記載されています。

サポート 「テックサポート」と「カスタマーサービス」ではソフトウェアのアップデートやオンライン・マニュアルをダウンロードできます。「互換情報」では、システム対応状況などを確認できます。「アンサーベース」では、よくある質問を検索することができます。「ユーザーカンファレンス」では、ユーザー同士の情報交換ができません。

トレーニング オンライン・コースで自習したり、Pro Tools の認定トレーニング・センターで実施している授業を調べてみましょう。

製品とディベロッパー 「製品」では、Digidesign 製品のデモ版をダウンロードできます。「ディベロッパー」には、プラグイン、アプリケーション、ハードウェアなど開発パートナーの製品情報を掲載しています。

ニュースとイベント 「ニュース」には、Digidesign からの最新のお知らせを掲載しています。「イベント」では、Pro Tools デモンストレーションへの参加申込ができます。

その他にもいろいろな情報を掲載しています。ぜひ一度 Digidesign のウェブサイト (www.digidesign.com) をご覧ください。

第 2 章

インストールレーション

TL AutoPan のインストール

TL AutoPan のインストーラは、DigiStore(www.digidesign.com) からダウンロードできます。または、プラグインのインストーラ・ディスク (パッケージ版のプラグインと同梱) に収録されています。

バンドル、パッケージ、またはシステムのうちのどの形態でご購入いただいても、基本的にインストール手順は変わりません。

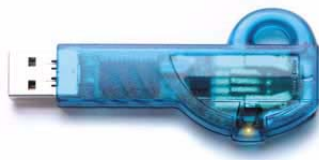
インストールレーション

TL AutoPan をインストールするには：

- 1 以下のいずれかを行います。
 - ・ Digidesign の DigiStore (www.digidesign.com) から TL AutoPan のインストーラをダウンロードし、解凍します。または
 - ・ CD/DVD ドライブにインストーラ・ディスクを挿入します。
- 2 TL AutoPan のインストーラをダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従います。
- 4 インストールレーションが終了したら、[Finish](Windows) または [Quit](Macintosh) をクリックします。

TL AutoPan をオーソライズする

TL AutoPan は、PACE 社製の iLok USB スマート・キー (iLok) を使ってオーソライズします。




iLok USB スマートキー

iLok は dongle に似ていますが、dongle とは異なって様々なソフトウェア・デベロッパの複数のアプリケーションをオーソライズすることができます。

このキー 1 つで、100 ライセンス以上の iLok 対応ソフトウェアをオーソライズできます。iLok にソフトウェアのオーソライゼーションを組み込むと、任意のコンピュータ上でそのソフトウェアをオーソライズできます。

A プラグインまたはソフトウェア・オプションには、iLok USB スマート・キーは付属していません。特定の Pro Tools システム (Pro Tools | HD シリーズのシステムなど) に付属のものを使用するか、別途ご購入ください。

DigiStore(www.digidesign.com) からオンラインでプラグインを購入した場合は、iLok.com から iLok にライセンスをダウンロードして、プラグインをオーソライズします。

 詳細については、iLok のウェブサイト (www.iLok.com) をご覧ください。

パッケージ版のプラグインを購入した場合、購入時に取得したアクティベーション・コード (6 ページの「アクティベーション・コードを使って TL AutoPan をオーソライズする」参照) を使ってオンラインでオーソライズします。

アクティベーション・コードを使って TL AutoPan をオーソライズする

アクティベーション・コードを使って TL AutoPan をオーソライズするには：

1 まだ iLok.com のアカウントをお持ちでない方は、www.iLok.com で iLok.com のアカウントを作成してください。

2 以下の方法で TL AutoPan のライセンスを iLok.com のアカウントに登録します。

- ・ <http://secure.digidesign.com/activation> にアクセスします。
- ・ アクティベーション・コード (アクティベーション・カードに記載) と iLok.com のユーザー ID を入力します。iLok.com のユーザー ID は、iLok.com のアカウントを作成したときの名前です。

3 以下の方法で、iLok.com のアカウントのライセンスを iLok USB スマート・キーに転送します。

- ・ iLok をコンピュータの USB ポートに差し込みます。
- ・ www.iLok.com を開き、ログインします。
- ・ 画面の指示に従ってライセンスを iLok に転送します。

4 Pro Tools を起動します。

5 オーソライズされていないプラグインやソフトウェアがあると、それらをオーソライズしようとしてメッセージが表示されます。画面の指示に従って、ソフトウェアをオーソライズしてください。

プラグインを削除する

プラグインはシステムから削除することができます。試用期間が終了したデモ・バージョンのプラグインは、システムから削除してください。削除しないでおくと、Pro Tools を開くたびに、このコンポーネントの試用期間が終了したことを示すメッセージが表示されます。

Windows XP で期限切れのプラグインを削除するには：

- 1 スタートをクリックします。
- 2 [コントロールパネル] をクリックします。
- 3 [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。
- 4 インストールされているアプリケーションの一覧から、削除するプラグインを選択します。
- 5 [変更と削除] ボタンをクリックします。
- 6 [OK] をクリックし、プラグインを削除します。
- 7 削除が完了したら、[アプリケーションの追加と削除] ウィンドウを閉じます。

Macintosh でプラグインをアンインストールするには：

- 1 アンインストールするプラグインのインストーラを起動します。
- 2 画面の指示に従い、[Install] ポップアップメニューから [Uninstall] を選択します。
- 3 [Uninstall] をクリックします。
- 4 アンインストールが完了したら、[Quit] をクリックします。

プラグインのパラメータを操作する

プラグインのパラメータを操作する

プラグインは、スライダーやつまみをドラッグしたり、テキスト・ボックスに値を入力して操作することができます。また、一部のプラグインには、クリックしてオンとオフを切り替えるスイッチがあります。

プラグインのコントロールを操作するには：

- 1 オーディオを再生し、コントロールの変化をリアルタイムで聴き取れるようにします。
- 2 効果を加えるプラグインのコントロールを操作します。7ページの「マウスを使ってパラメータを変更する」と8ページの「コンピュータのキーボードを使ってパラメータを変更する」をお読みください。

プラグインを閉じると、最新の変更内容が保存されます。

マウスを使ってパラメータを変更する

ロータリー・コントロールは、水平方向または垂直方向にドラッグして操作できます。パラメータの値は、上または右にドラッグすると増加し、下または左にドラッグすると減少します。


キーボード・ショートカット

- ◆ Control (Windows) または Command (Macintosh) を押さえながらコントロールをドラッグすると、微調整が行なえます。
- ◆ コントロールを Alt- クリック (Windows) または Option- クリック (Macintosh) すると、デフォルト値に戻ります。

コンピュータのキーボードを使ってパラメータを変更する

一部のコントロールには、現在のパラメータ値が表示されるテキスト・ボックスがあります。パラメータの数值は、コンピュータのキーボードから変更することもできます。

複数の [Plug-in] ウィンドウを開いているときは、ターゲット・ウィンドウになっているプラグインでのみ Tab とキーボード入力が機能します。


 複数の [Plug-in] ウィンドウを開く方法について詳しくは、「DigiRack プラグイン・ガイド」をお読みください。

コンピュータのキーボードでコントロールの値を変更するには：

- 1 操作するコントロールのテキスト・ボックスをクリックします。
- 2 値を変更します。
 - ・ 値を増加させるには、キーボードの上矢印キーを押します。値を減少させるには、キーボードの下矢印キーを押します。

または

- ・ 値をタイプ入力します。


 キロヘルツ単位の値がサポートされているフィールドでは、数字の後に「k」とタイプすると、値はこの数字の1,000倍となります。たとえば、8,000 という値を入力するには、「8k」とタイプします。

3 以下のいずれかを行います。

- ・ アルファ・キーボードの Enter キー (Windows) または Return キー (Macintosh) を押して、キーボードの編集モードを解除します。

または

- ・ テンキーの Enter キーを押して値を入力し、キーボードの編集モードを維持します。

 次のコントロール・フィールドに移動するときは、Tab キーを押します。前のパラメータに移動するときは、Shift+Tab キーを押します。

スクロール・ホイールを使ってパラメータを変更する

一部のコントロールには、現在のパラメータ値が表示されるテキスト・ボックスがあります。パラメータの数值は、スクロール・ホイールを使って変更できます。

スクロール・ホイールでコントロールの値を変更するには：

- 1 操作するコントロールのテキスト・ボックスをクリックします。
- 2 値を増加させるには、スクロール・ホイールで上にスクロールします。値を減少させるには、スクロール・ホイールで下にスクロールします。

スイッチを切り替える

スイッチを切り替えるには：

- スイッチをクリックします。

第 4 章

TL AutoPan

はじめに

TL AutoPan は、Pro Tools の TDM および RTAS プラグインです。TLAutoPan は、LFO、エンベロップ・フォロワー、MIDI ビート・クロック、または手動によるオートメーションに基づいて、モノ入力をマルチチャンネル (ステレオ、LCR、Quad、および 5.0) 出力にパンする、自動パンニ

ング・プラグインです。この TL AutoPan は、Pro Tools セッションでのテンポに合わせた、リズムカルなパン効果に最適です。また、ポストプロダクションでのマルチチャンネル・サラウンド・フォーマットへの自動パンニングを、簡単で的確な方法で行うことができます。

▲ Pro Tools LE での RTAS は、モノからステレオへの変換だけをサポートします。



Figure 1. TDM バージョンの TL AutoPan プラグイン

TL AutoPan のコントロール

TL AutoPan のインターフェースは次のセクションに分かれています。

アウトプット・メーター

アウトプット・メーターには、出力音声の振幅が表示されます。モノからステレオへの変換モードでは、2つのメーター・バーが表示されます。モノから LCR への変換モードでは3つ、モノから Quad の場合は4つ、モノから 5.0 では5つのチャンネルが表示されます。



アウトプット・メーター (L, C, R, Ls, Rs)

チャンネルがクリップすると、クリップ・インジケータが赤く点灯します。各チャンネルのクリップ・インジケータは、クリックすればクリアされます。

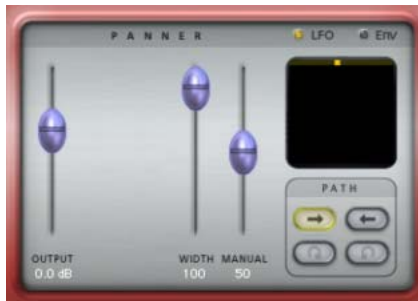
パナー・セクション

[Panner] セクションでは、出力チャンネルの設定に応じたコントロールが割り当てられます。

TL AutoPan がモノからステレオ、またはモノから LCR への変換形式に設定されている場合、[Output]、[Width]、および [Manual] コントロールが割り当てられます。これらはすべての出力設定に共通のコントロールです。TL AutoPan がモノから Quad、またはモノから 5.0 への変換形式に設定されている場合は、[Path] の選択に応じて、さらに [Angle] と [Place] コントロール、または [Spread] コントロールが割り当てられます。また、パン・ソース・セレクタ、パン・ディスプレイ、および [Path] セレクタは、すべての出力チャンネル設定に共通です。

アウトプット

[Output] スライダーを使用すると、24 dB から +12 dB の範囲で出力信号レベルをカットまたはブーストできます。



モノからステレオへの変換、左から右へのパスが選択された [Panner] セクション

フィールド幅

[Width] スライダーでは、パンを実行するフィールドの幅を制御します。100%にすると、フィールドを最大限に使用してパンが実行されます。0%では、パンを実行するフィールドは中心点で静止します。[Width] スライダーによって、パンの位置での LFO またはエンベロップによる制御の度合いを効果的に決定することができます。

手動

[Manual] スライダーでは、パンの位置を直接制御します。これにより、コントローラーから、またはオートメーションを使用して、手動でパンの位置を制御できます。手動で制御できる度合いは、[Width] スライダーの設定に基づきます。すべてを手動で制御するには、[Width] スライダーを 0% に設定します。[Width] スライダーが 100% に設定されていると、[Manual] スライダーではパンの位置を調節できません。[Width] スライダーが 50% に設定されている場合は、LFO によって範囲の 50% で位置がスイープされ、[Manual] スライダーでは、この 50% の範囲の位置を移動できます。

アングル

[Angle] スライダーでは、 90° から $+90^\circ$ の範囲で、パンを実行するフィールドの向きを調節します。 0° では、パンを実行するフィールドは完全な左右方向に向いています。 90° または $+90^\circ$ では、パンを実行するフィールドは完全な前後方向に向いています。



モノから 5.0 への変換、左から右へのパスが選択された [Panner] セクション

[Angle] スライダーを使用できるのは、モノから Quad およびモノから 5.0 への形式が選択され、かつ、左から右または右から左へのパスが選択されている場合に限られます。

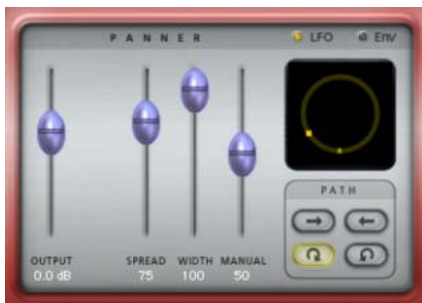
配置

[Place] スライダーでは、パンを実行するフィールドの前後方向の配置を調節します。 0% では、パンを実行するフィールドは前後方向の中心点に配置されます。 $+100\%$ にすると、一番手前に配置されます。 -100% にすると、一番奥に配置されます。

[Place] スライダーを使用できるのは、モノから Quad およびモノから 5.0 への形式が選択され、かつ、左から右または右から左へのパスが選択されている場合に限られます。

拡張

[Spread] スライダーでは、パンを実行するフィールドを拡張したり収縮したりします。 100% にすると、フィールドを最大限に拡張してパンが実行されます。 0% では、パンを実行するフィールドの拡張が完全に抑制され、音声は左右および前後方向の中心点で静止します。

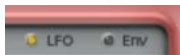


モノから 5.0 への変換、時計回りのパスが選択された [Panner] セクション

[Spread] スライダーを使用できるのは、モノから Quad およびモノから 5.0 への形式が選択され、かつ、円形 (時計回りまたは反時計回り) のパスが選択されている場合に限られます。

パンのソース

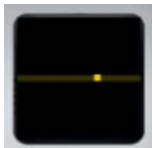
[LFO] または [ENV] をクリックして、パンのソースを選択します。ソースを [LFO] に設定すると、LFO とそのコントロールによってパンが制御されます (12 ページの「LFO セクション」参照)。ソースをエンベロップ ([ENV]) に設定すると、エンベロップ・ディテクタとそのコントロールによってパンが制御されます (15 ページの「エンベロップ・セクション」参照)。エンベロップ・ディテクタは、パンが実行されたオーディオ信号、またはサイドチェーン・インプット (17 ページの「サイドチェーン・インプットを使用する」参照) でトリガーできます。



パン・ソースのボタン

パンの表示画面

パン・ディスプレイには、パンを実行するフィールドと、このフィールドにある音源の位置が視覚的に表示されます。



モノから 5.0 への変換、左から右へのパスが選択されたパン・ディスプレイ

サウンド・ロケーション・インジケータ 明るい黄色の光は、音源の位置を示します。

パン・フィールド・インジケータ 灰色の線の部分です。この内側を黄色のサウンド・ロケーション・インジケータが移動して、パンを実行するフィールドを示します。

パス

[Path] セレクタでは、オーディオ信号が左から右、右から左、または時計回り / 反時計回りの円形のうち、どの向きでパンするかを決定します。円形の [Path] セレクタ (時計回り / 反時計回り) を使用できるのは、モノから Quad およびモノから 5.0 への形式が選択されている場合に限りま



左から右へのパスが選択された [Path] セレクタ

LFO セクション

[LFO] セクションでは、パンの変調に使用できる低周波オシレータ (Low Frequency Oscillator) を制御します。[LFO] セクションのコントロールを使用できるのは、パン・セクションでパン・ソースとして LFO が選択されている場合 (11 ページの「パンのソース」を参照) に限られます。



[LFO] セクション

▲ [Panner] セクションをエンベロップ ([ENV]) に設定すると、[LFO] セクションのコントロールではパンを制御できません。

レート

[Rate] スライダーでは、1 分間あたりの拍数単位で LFO のレートを調節します。[Link to Tempo] がオンになっているとこのスライダーは無視され、テンポ LCD に現在のセッションのテンポが常に表示されます (14 ページの「テンポ LCD」参照)。

波形

[Waveform] セレクタでは、LFO で使用する音波の形状を決定します。使用中の波形の形状は、パン・ディスプレイのサウンド・ロケーション・インジケータの動きとして視覚的に表されます。



LFO での波形の選択

LFO トリガー

デフォルトでは、LFO は選択した波形の循環を続けます。選択した波形を 1 回だけ循環させるようにしたり、MIDI ビート・クロック、エンベロップ、または手動でトリガーするようにも設定できます。



LFO トリガー

1 回のみ

[Single] トリガーを選択すると、LFO は波形を 1 回だけ繰り返した後、停止します。

ビート・クロック

[Beat Clock] トリガーを選択すると、LFO は MIDI ビート・クロックに同期します。TL AutoPan は、64 分音符ごとにビート・クロック信号を受け取ります。[Duration] メニューでは、16 分音符から 4 小節までの範囲で、ビート・クロック信号が TL AutoPan をトリガーする頻度を決定します。ビート・クロック信号を受け取ると、[Beat Clock] トリガーのライトが明るく点滅します。このビート・クロック機能によって、LFO が各ビートで常に同じ状態を保ち、TL AutoPan では一貫したパン結果を得ることができます。

エンベロップ

[Envelope] トリガーを選択すると、オーディオ信号の振幅を分析するエンベロップ・ディテクタによって LFO が直接トリガーされます。[Envelope] セクションのサイドチェーン・インプット・セレクタオンにすると、代わりにサイドチェーン・オーディオ信号が使用されます。オン有的时候は、オーディオ信号を検出すると [Envelope] ライトが明るく点滅します。スレッシュールド・レベルは、[Envelope] セクションの [Threshold] コントロールを使用して調整できます。

以前のオーディオ信号の一部がスレッシュールドを上回っているためにエンベロップ・ディテクタが完全に解放されている場合は、次にオーディオ信号がスレッシュールド・レベルを上回った際にトリガーが発生します。指定したスレッシュールドをオーディオ信号が下回った後にエンベロップ・ディテクタが完全に解放されるまで、別のトリガーは発生しません。解放時間が増加するとトリガーの発生率が低下し、解放時間が減少するとトリガーの発生率が上昇します。

手動

[Manual] トリガーを選択すると、LFO は手動でトリガーされます。これは、Pro Tools のオートメーション機能を使用して LFO をトリガーする場合に特に便利です。

コントローラーとオートメーションを使用することで [Manual] トリガーがオン / オフのスイッチのような役目を果たし、状態が変化するたびに LFO をトリガーします。

テンポ・コントロール

テンポにリンク

[Link To Tempo] オプションをオンにすると、LFO レートが Pro Tools セッションのテンポに設定され、セッションでテンポを変更すると自動的に反映されます。また、LFO レートのスライダーは無視され、現在のセッションのテンポが、LCD に表示されたテンポに常に反映されます。



テンポ・コントロール

デュレーション・セレクト

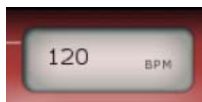
[Duration] セレクトは、セッションのテンポ、LFO レート、およびビート・クロック・トリガーと連動して動作します。デフォルトでは、[Duration] は 1 小節に設定されています。この設定では、LFO 周期は 1 小節に 1 回です。[Duration] が 1 ビートに設定されていると、LFO 周期は 1 ビートに 1 回になります。[Link to Tempo] がオンになっている場合は、[Duration] メニューで、Pro Tools セッションのテンポの関数として LFO レートを設定できます。また、[Duration] メニューでは、ビート・クロック・トリガーを有効化する頻度を制御することもできます。



デュレーションの選択

テンポ LCD

テンポ LCD には、テンポが BPM 単位で表示されます。また、テンポ LCD の値は、クリックして新しい値を入力すれば直接編集できます。



テンポ LCD

エンベロップ・セクション

パン・ソースにエンベロップ ([ENV]) を選択すると、オーディオ信号とエンベロップ・セクションのコントロールによってパン (パン・ディスプレイに表示) が制御されます。



エンベロップ・セクション

▲ パン・ソースにエンベロップ ([ENV]) が選択されていないと、このセクションのコントロールでは音声を制御できません。

サイドチェーン・インプット

サイドチェーン・インプット・セクタ (鍵の形をしたアイコン) をオンにすると、エンベロップ・ディテクタで使用する音声は、現在のトラックではなく、サイドチェーン・インプットから取得されます。サイドチェーン・インプットを選択するには、プラグイン・ウィンドウの最上部にある Pro Tools のキー入力セクタを使用します。



サイドチェーン・インプット・セクタをオンに

スレッシュホルド

[Threshold] スライダーでは、エンベロップ・ディテクタが必要とする振幅のレベルを設定します。オーディオ信号がスレッシュホルドを上回っていることが検出されると、LFO のエンベロップ・ディテクタが明るく点滅します。

アタック

[Attack] スライダーでは、エンベロップ・ディテクタのアタックレートを設定します。

リリース

[Release] スライダーでは、エンベロップ・ディテクタのリリースレートを設定します。

TL AutoPan を操作する

TL AutoPan を使用すれば、低周波オシレータ (LFO)、アンプ・エンベロップ (ENV)、または手動での制御によって、ダイナミックなパン効果をもたらすことができます。TL AutoPan では、音が空間を飛び回るような効果を得ることも、音楽トラックのビートに合わせてパンすることも簡単にできます。以下に、TL AutoPan の使用例として、ビートに合わせたパンによるリズムカルなパン効果と、ポスト・プロダクションでのサラウンド・パンについて説明します。

ビートに合わせたパン

TL AutoPan では、LFO を MIDI ビート・クロックに同期させることにより、リズムカルなパン効果を得ることができます。

TL AutoPan を MIDI ビート・クロックに同期するには：

- 1 セッションのテンポが音楽のテンポと一致していることを確認してください。
- 2 モノからステレオへの変換に設定した TL AutoPan のインスタンスを、パンを実行する音声の入ったモノ・オーディオ・トラックにインサートします。トラックのチャンネル幅長が、「モノからステレオ」に変更されます。

3 TL AutoPan のプラグイン・ウィンドウで、[Link To Tempo] をオンにします。これによって、LFO レートがセッションと同じテンポに調整されます。

4 [Duration] セレクタからデュレーションを選択します。ここでは例として [2 Beats] を選択します。

5 [Waveform] セレクタから、LFO で使用する波形を選択します。ここでは例として [4 Step Triangle] を選択します。

6 LFO の [Trigger] で、[Beat Clock] をオンにします。これによって、LFO がビートに同期します。

7 セッションを再生して、パン効果を聴きます。

ポスト・プロダクション・パンニング (Pro Tools HD システムのみ)

TL AutoPan では、サラウンド・パスによって、モノ・トラックにステレオ (LCR, Quad, または 5.0) 出力以上の効果をもたらすことができます。これは、ポスト・プロダクションでの作業に便利です。以下に、TL AutoPan による、5.0 サラウンドの「蚊が飛び回るような」パンの作成例を紹介します。


TL AutoPan でモノ・トラックを 5.0 にパンする手順は次のとおりです。

1 モノから 5.0 への変換に設定した TL AutoPan のインスタンスを、パンを実行する音声の入ったモノ・トラックにインサートします。トラックのチャンネル幅長が、「モノから 5.0」に変更されません。


2 トラックの [Output] セレクタから、5.0 アウトプット・パスを選択します。

3 TL AutoPan のプラグイン・ウィンドウで、[Path] から時計回りまたは反時計回りを選択します。


4 [Spread] パラメータと [Width] パラメータを調整します。

 [Spread] と [Width] にオートメーションを実行して、パン対象の音声の配置を変更してみてください。

5 LFO の [Waveform] セレクタから、[Half Sine] を選択します。

 LFO を使用する代わりに [Manual] コントロールにオートメーションを実行して、蚊が飛び回るような不規則なパンを作成してみましょう。

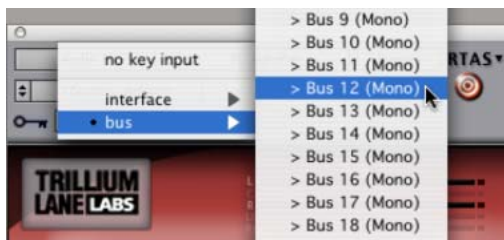
6 [Rate] スライダーを調整します。

 [Rate] にオートメーションを実行して、パン対象の音声の速度が時間とともに変化するようにしてみてください。

7 セッションを再生して、頭のまわりを蚊が飛び回っている音を聴きます。

サイドチェーン・インプットを使用する

TL AutoPanのサイドチェーン・インプット・オプションを使用すると、Pro Tools セッションの別のトラックからエンベロップ・ディテクタに音声をルーティングできます。この機能は、目的のチャンネルからバスに音声を送信し、TL AutoPan のサイドチェーン・インプットを同じバスに設定することで実行されます。



サイドチェーン・インプット用のバスの選択

- 📖 サイドチェーン・インプットの使用方法について詳しくは、「DigiRack プラグイン・ガイド」をお読みください。

索引

D

Digidesign オンライン登録カード 2

I

iLok USB スマートキー 5

T

TL AutoPan 9

- [Angle] スライダー 11
- [Attack] スライダー 15
- [Beat Clock] トリガー 13
- [Duration] セレクタ 14
- [Envelope] トリガー 13
- [Link To Tempo] オプション 14
- [Manual] スライダー 10
- [Manual] トリガー 13
- [Output] スライダー 10
- [Panner] セクション 10
- [Panning] ディスプレイ 12
- [Path] セレクタ 12
- [Place] スライダー 11
- [Rate] スライダー 12
- [Release] スライダー 15
- [Side-Chain Input] オプション 17
- [Side-Chain Input] セレクタ 15
- [Single] トリガー 13
- [Spread] スライダー 11
- [Tempo] LCD ディスプレイ 14
- [Threshold] スライダー 15
- [Waveform] セレクタ 13
- [Width] スライダー 10
- ENV 11
- LFO 11, 12
- LFO トリガー 13
- アウトプット・メーター 10
- エンベロップ・セクション 15
- サウンド・ロケーション・インジケータ 12
- サラウンド・パン 16
- テンポへの同期 15

- テンポ・コントロール 14
- パンの例 15
- パン・フィールド・インジケータ 12

あ

- アクティベーション・カード 6
- アクティベーション・コード 6

う

ウェブサイト 3

き

- キーボード・ショートカット
- プラグインのパラメータを操作する 7

く

クリップ・インジケータ 2

こ

- コンピュータのキーボード
- プラグインのパラメータを操作する 8

す

- スイッチ
- プラグインのパラメータを操作する 8
- スクロール・ホイール
- プラグインのパラメータを操作する 8

と

トラックへプラグインを挿入する 2

は

- パッケージ版
- パッケージの内容 1

ふ

プラグイン

アンインストール 6

インストール 5

オーソライズする 6

オートメーション 2

パラメータを操作する 2, 7

ライブラリアンを使用する 2

削除する 6

登録 2

プラグインのアンインストール 6

プラグインのインストール 5

プラグインのオーソライズ 6

プラグインのオートメーション 2

プラグインのパラメータの操作 2

プラグインのパラメータを操作する

キーボード・ショートカット 7

コンピュータのキーボード 8

スイッチを切り替える 8

スクロール・ホイール 8

マウス 7

プラグインの削除 6

プラグイン・ウインドウ 2

ま

マウス

プラグインのパラメータを操作する 7

ら

ライブラリアン 2



www.digidesign.com

DIGIDESIGN

〒107-0052

東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館ビル 4F
アビッドテクノロジー株式会社内

製品情報

Tel: 03.3505.7963

Fax: 03.3505.3417

テクニカルサポート

Tel: 03.3505.4762

(HD/TDM: #30, LE: #31)

Fax: 03.3505.3417

カスタマーサポート

Tel: 03.3505.4762 (# 22)

Fax: 03.3505.3417